



記者発表日

令和7年3月14日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ
広島県政記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

来て見て感じて！地元高校生が実際の施設を体験します ～海田高校美術部が事務所紹介デジタルサイネージを制作～

中国技術事務所を紹介するデジタルサイネージの制作にご協力いただいた広島県立海田高等学校美術部の生徒 約10名が、実際の施設を体験に来ます。当日は、DX体験、降雨体験などを通じ、今後の創作の参考としていただくとともに最新技術の体感や防災意識の向上を図っていただきます。

■ 日 時：令和7年3月25日（火）14:00～16:00（予定）

■ 場 所：中国技術事務所
（広島市安芸区船越南2-8-1）

■ 概 要：別紙のとおり



※美術部制作作品

■ その他：取材を希望される場合は、3月24日（月）17:30までに下記
問合せ先までご連絡いただきますようお願いいたします。
※悪天候等の場合には、中止や内容変更する場合があります。

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 中国地方整備局 中国技術事務所



Chugoku Infra DX

【広報】副所長（事務）

こでら かずひこ
小寺 一彦

【担当】総務課長

ふじかわ りょうじ
藤川 良治



中国技術事務所 H P

住 所：広島県広島市安芸区船越南2丁目8番1号

電 話：082-822-2340（代表）

U R L：<https://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/>

【概要】

【経緯】

○地域と連携して広報を推進するため、当技術事務所を理解してもらうための広報資料の制作を海田高等学校美術部に依頼

・制作頂いたものは、地元海田町役場のデジタルサイネージ等で発信



○制作にあたって、施設や業務内容を紹介するため同校を訪問

・当事務所若手職員が3グループに分かれて座談会形式で説明、意見交換を行う



※令和 6 年 11 月 22 日

座談会の様子



○美術部による作品完成(R7. 3月)



○部活動の一環として体験来所

※制作した作品の内容を実際に体感してもらう(主旨・内容は下記のとおり)

【今回の体験主旨】

○制作した作品の内容を実際に体験

- ・作品で表現した施設の目的を知っていただく
- ・実際に体験していただくことで、今後の創作の参考としていただき、サステナブルな取組として繋げる
- ・体験した内容をまわりに広めてもらい、防災意識の啓発に役立てる

【今回の体験内容】

①DX体験

- ・VRによる仮想現実を体験
- ・バックホウシミュレータによる無人化施工の体験

②降雨体験

- ・降雨体験機により災害級の大雨を体感